

## 地域力で考える座間の都市像 —市民自治の時代とまちづくりに向けて—



産業能率大学 情報マネジメント学部  
齊藤 進

1

## 1. まちづくり—その歴史的経緯から考える—

### 1.1 1960年代:対立と抵抗の時代のまちづくり

■高度経済成長／都市問題の激化／公害反対・大規模建設工事反対運動／革新自治体の誕生(「開発から生活へ」、「経済から福祉へ」、「中央追従から地域中心へ」)

■全国の動き:全国総合開発計画(1962.10)

『地域間の均衡ある発展』—拠点開発構想—

高度経済成長への移行／過大都市問題／所得格差の拡大／所得倍増計画

2

### 1.2 1970年代:試行の時代のまちづくり

■開発紛争の地域化／コミュニティの再生(モデルコミュニティ、コミュニティ活動の活性)、まちづくりのルール化(住民憲章、住民協定、建築協定)／地方での地域振興への模索、過疎化対策、村おこし運動(大分県一村一品運動)

■全国レベル:新全国総合開発計画(1969.5)  
『大規模プロジェクト構想』—豊かな環境の創造—  
高度経済成長／人口・産業の都市集中／情報化・国際化、技術革新の進展

■座間市:「座間市総合計画」(1972年～1980年)  
将来像:明るく住みよい民主的な都市  
主要施策:全般的な都市基盤の整備など

3

### 1.3 1980年代:実践の時代のまちづくり

■地区レベルでのまちづくりの検討(地区計画制度の創設)／地区レベルでの市民参加の進展／対話型まちづくりの推進(修復型まちづくり、まちづくり協議会方式、市民と行政による協働型まちづくり)

■全国レベル:第三次全国総合開発計画(1977.11)

『定住構想』—人間居住の総合的環境の整備—  
安定成長経済／人口・産業の地方分散の兆し／国土資源、エネルギー等の有限性の顕在化

■座間市:「座間市新総合計画」(1981年～1990年)  
将来像:緑あふれる明るく住みよい民主的な都市  
主要施策:全般的な都市基盤の整備など

4

### 1.4 1990年代:社会定着の時代のまちづくり

■バブル経済／自治体独自のまちづくり条例の制定／都市計画マスタープラン制度(マスタープランづくりと市民参加の促進)／地方分権推進法(95)／地域性・市民性の重視／まちづくりワークショップの導入・活用(幅広い参加の呼びかけ、自由な話し合いの場、分かり易い情報の提供、話し合いによる合意の形成)

■全国レベル:第四次全国総合開発計画(1987.6)  
『多極分散型国土の構築』—交流ネットワーク構築—  
人口、諸機能の東京一極集中／産業構造の急変な変化／地方圏の雇用問題の深刻化／本格的国際化の進展

■座間市:「第三次座間市総合計画」(1991年～2010年)  
将来像:みなぎる活力とやすらぎが調和するときめきのまち  
主要施策:核づくり計画、座間西部地域整備構想

5

### 1.5 2000年代:自治・協働時代のまちづくり

■成熟期都市型社会／少子高齢社会／中央集権から地方分権／地方自治政府としての市町村／行財政改革・財政危機／市民の地域社会貢献活動・NPO活動／拡大から安定・生活重視

■全国レベル:21世紀の国土のグランドデザイン(1998.3)

『多軸型国土構造形成の基礎づくり』—参加と連携—  
地球環境(地球環境問題、大戦争、アジア諸国との交流)／人口減少・高齢化時代／高度情報化時代

■座間市:「第四次総合計画」(2011年～2010年)  
キーワード:市民自治・協働・地域力

6

## 2. 市民の参加・協働が求められる背景

- ① 高齢社会到来、都市問題の複雑化、環境悪化、多様なニーズ社会・・・財政悪化(従来型行政の限界)
- ② 市民との協力(市民協働)、パートナーシップ社会の実現(上下・主従⇒対等・協力の関係へ)を望む声
- ③ 行政中心(主導)の都市整備の限界(前例主義、先例主義の限界、タテ割り行政の弊害)
- ④ 従来の参加形態の限界(限られた参加、市民の意見表明の制約、行政意向を追従する委員会、計画を策定後行う住民説明、開催頻度の少ない説明会、事後段階での情報提供のまずさなど)

7

- ⑤ 市民自ら地域の問題発見、課題を明確に改善対策の話し合い、市民提案の作成と実行、地域社会運営を求める声
- ⑥ そのための市民の責務・自覚、共有する価値観形成、協議と合意形成(自主・自立性、自律性、創造・提案性、実行性)のための仕組みづくり
- ⑦ 人間重視(人が中心)、環境重視、市民の発想の高まり
- ⑧ 行政主導のトップダウン型から市民主体のボトムアップ型への転換要請
- ⑨ 市民自治、市民の政府の時代の実現(地域で考え、地域で問題を解決し、提案・行動する)を求める声

8

## 3. 参加の時代に市民はどう取り組むべきか

- ① 主体性の強化:他人任せにしないで取り組む
- ② 問題意識が基本:まちを見る目と一人ひとりのまちへの関心を常に高める
- ③ まちづくりは実践が前提:現場で考え、市民の知恵と工夫を活かし生活環境の質を常に追求する
- ④ まちづくり協議の進め:市民、行政、事業者間の対等で相互に信頼する話し合いとその場の存在
- ⑤ 情報の共有を忘れない:事前段階の呼びかけ、事後の管理など参加と活動継続のための情報の重要性

9

## 4. 協働の時代に市民はどう活動すべきか

市民、行政の自己革新を基本に、自己革新した市民と行政による協力を！  
(市民サイド)要求型市民から  
自発・実践・提案型の市民活動へ  
(行政サイド)先例主義に留まらない  
問題解決型の業務創造へ

- ① 共に考えるための姿勢
- ② 共に対等に取り組むための配慮
- ③ 共に主体となり責任を持つための決意
- ④ 共に違いを知り解決するための努力
- ⑤ 共に実践するための力(地域力・市民力)

10

## 5. 総合計画づくりのための視点

### 5.1 その基本姿勢

- ① 「計画づくりとは、その時代の市民の意識や価値観、地域の歴史性が投影されたものでなければならない」
- ② 「経済的豊かさの追求だけではなく、市民自らが生きがいや喜びを感じる地域社会づくりが求められている」
- ③ 「少子高齢社会において、人と人とのつながり、身近な生活環境の改善や生活サービス支援の強化など地域社会の再生が課題となっている」

11

## 5.2 計画づくりはどうすすめるべきか？

その1. 地域の実情を徹底的に分析・把握し、白紙の段階から参画し、市民相互の理解の下に取り組む。

その2. 話し合いの過程こそが市民参画・協働の場として、その策定作業を広く公開し、情報提供の徹底を図りながら、より多くの市民を巻き込みながら進める。

12

その3. これまでの地域の取組みを振り返り、どこに問題があったのか、またどんな成果があがっているかを確認し、その上で、市民(生活者)の発想でこれからのあるべき姿を徹底的に考える。

その4. 話し合いは時間を充分かけ、市民の徹底参画、徹底協議を基本に、螺旋階段を上に登るように行きつ戻りつ繰り返しながら、しかし目標に向かって確実に歩みを進める。

その5. 地域の歴史、個性を発見・重視し、それらの継承を前提に、将来都市像に向け、市民による市民のための計画を検討し提案する。<sup>13</sup>

### 5.3 21世紀型の座間市総合計画の論点

- ①「新しく何をどうつくるか」から「地域資源、歴史性を活かし、活用・運営するための方法」を考えたい
- ②参加・協働の推進と情報の共有による市民自治の強化を進めたい
- ③急激な地域社会の変化の中、地域でのつながり(コミュニティの再生、コミュニティの育成)を考えたい
- ④環境の世紀において、多様な潜在個性を抱える座間の環境共生型地域社会づくりを問い直す

\*「座間は個性がかくれたまちです」  
(第3次総合計画後期基本計画 座間市の現状より)

14

## 6. 地域力から新たなまちづくりへ

その1. まちを創造する力としての

地域力を高める

その2. まちを見直す力としての

地域力を探す

その3. まちを支える人づくりとしての

地域力を育む

その4. まちをつなぐ新たな仕組みとしての

地域力を築く

その5. 問題の発見・改善のための取り組み、実践力としての

地域力を強める

15

## 座間の地域力！

第1回「かながわ

チャレンジ商店街」

大賞受賞(2009.2)

相武台駅前南口商店会

『小さな商店会の

小さな友達づくり』



16

## 7. これからのまちへの関わり方

あなたは、地域社会に対し日々関心を持って生活していますか？

あなたは、地域社会の問題を自ら解決するといった姿勢を強く持っていますか？

あなたは、地域社会の改善に取り組むため知恵を出したり工夫をしていますか？

あなたは、地域社会を良くするために十分な責任を果たしていますか？

あなたは、次世代のため自信を持ってまちづくりを進めていると言えますか？

17

## 8. 協働時代の改革派職員像

・自己変革の努力、・市民の視線を重視、・市民活動への理解、・市民との信頼、・対等な関係づくり、・仕事へのこだわり、・市民のためのサービス創造、・自治意識

・市民意向を把握するための努力を常に行っていますか？

・現地へ出かけ問題を発見しようとする行動力はありますか？

・情報を進んで公開しようとしていますか？またそのための方法を常に模索していますか？

・わからなければ市民と行政が協議し、方針をまとめる決意がありますか？

・互いに協力し問題解決に当たる姿勢がありますか？

・異なる意見を持つものを排除しようとしていませんか？

・協働のまちづくりを本心から進めようとしていますか？

18